SONY

2-682-684-**03**(1)

取扱説明書

DIGITAL PHOTO ALBUM

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDD フォトストレージ

HDPS-L1

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

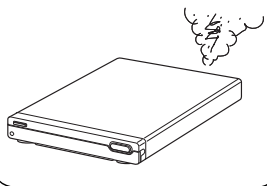
定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはお客様ご相談センターに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

準備する

本機に画像をコピーする

画像をテレビに表示する

画像の管理

設定

パソコンとつなぐ

その他

⚠警告 火災 感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
熱器具に近づけない。加熱しない。
移動させるときは、電源プラグを抜く。
電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
➡万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはお客様ご相談センターに交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものを置かない

禁止

感電や故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れないようにする

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。
➡万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはお客様ご相談センターにご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電、けがの原因となることがあります。
➡内部の点検や修理はお買い上げ店またはお客様ご相談センターにご依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

接触禁止

感電の原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。
お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する

電源コードや映像・音声コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池の液が漏れたときは

接触禁止

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

指示

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠注意

指定以外の電池を使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
➡指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
➡指定の電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

必ずお読みください

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

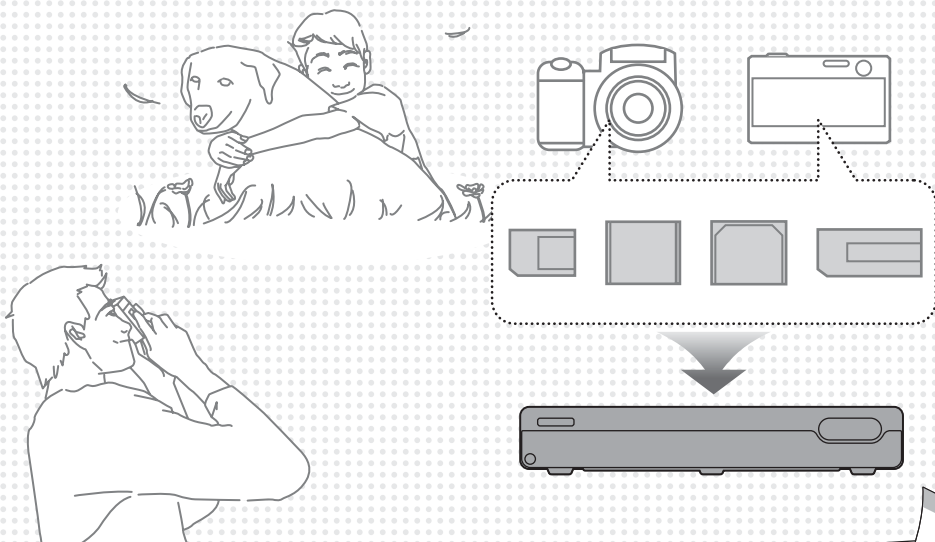
ハードディスクは記録密度が高いため、大量の画像を保存することができます。
その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動､衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時 10 ℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは､電源プラグをコンセントから抜かない。
- 本機を移動する場合､コンセントから電源プラグを抜いて 1 分以上待ってから､振動､衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため､お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器等の記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

楽しみ方いろいろ HDD フォトストレージ

ボタンひとつで画像をコピー

“メモリースティック”やコンパクトフラッシュなど各種のメモリーカードが使えます。詳しくは、「ご使用になれるメモリーカード」（65 ページ）をご覧ください。

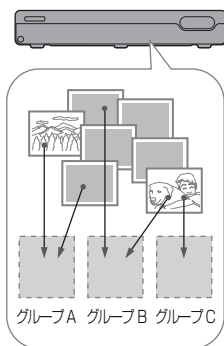
☛「本機に画像をコピーする」（22 ページ）

☛「画像を撮影日ごとに分ける（コピー実行直後）」（48 ページ）

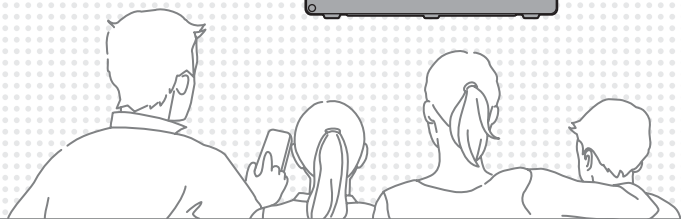
こんなこともできます

グループを作って画像を整理できます

出来事やテーマごとにグループを作って、画像を整理できます。グループから画像を消去しても、元の画像は消去されません。

☛「グループに画像を登録する」（39 ページ）

メモリーカードに画像を書き出せます

本体に保存した画像をメモリーカードに書き出せます。携帯電話やゲーム機で画像を楽しんだり、気に入った画像を友達にあげたりしましょう。

☛「画像やフォルダをメモリーカードに書き出す」（50 ページ）

撮った画像をテレビで楽しむ

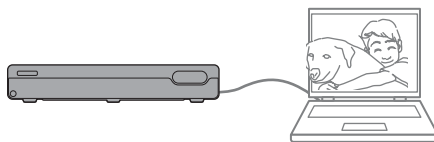
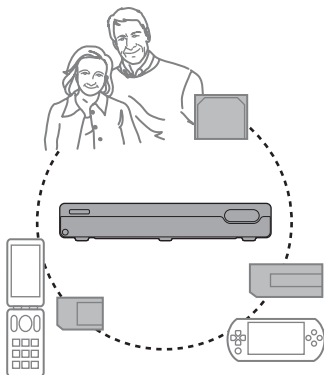
HDD フォトストレージをテレビに接続すれば、撮った画像をテレビの画面に映して、大画面・高画質で楽しめます。スライドショーもできます。

☛「画像をテレビに表示する」（26 ページ）

☛「スライドショーを行う」（37 ページ）

パソコンとつないで使えます

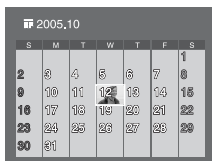
画像のバックアップをパソコンに保存したり、パソコンから印刷したりできます。また、パソコンに保存されている画像を **HDD** フォトストレージにコピーして、テレビで楽しむこともできます。

☛「パソコンとつなぐ」（56 ページ）

基本的な画面操作

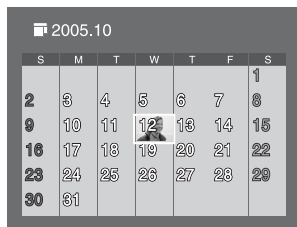
基本的な画面の使い方

前の画面に戻るには、BACK ボタンを押します。

画面の種類

HOME メニュー
電源を入れたときに表示されます。

カレンダー
月間カレンダーを表示します。

フォルダ
画像が保存されている

ボタンを押して決定します。

カレンダーを選んだ場合

各種機能を使うには、MENU ボタンを押します。

表示されるメニュー項目は、画面によって異なります

メニュー一覧を閉じるには、もう一度 MENU ボタンを押します。

HOME メニューに戻るには、HOME ボタンを押します。

サムネイル
画像の縮小イメージを表示します。

フル画面
画像を画面サイズに合わせて表示します。

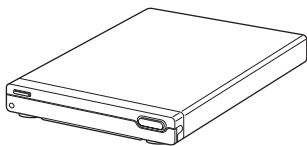
グループ
登録済みグループの一覧を表示します。

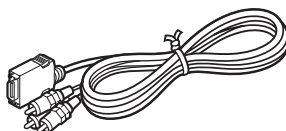
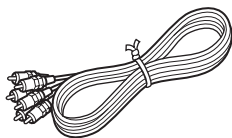
MENU
メニュー一覧を表示します。

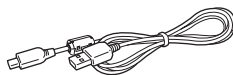
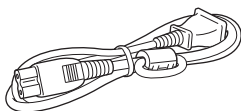
付属品を確認する

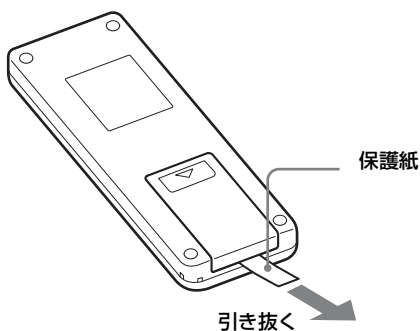
下記の付属品がすべてそろっているかご確認ください。万一、不足や破損がある場合は、お買い上げの販売店か、お客様ご相談センターまでお知らせください。

• HDD フォトストレージ本体 （1）

• リモートコントローラー（CR2025 リチウム電池付属）（1）

• 映像・音声コード （1）

• コンポーネント映像コード（D 端子用）（1）

• 電源コード （1）

• USB ケーブル （1）

• 取扱説明書（本書）（1）
• 保証書 （1）
• 簡単操作ガイド（1）
• カスタマーご登録のお願い（1）

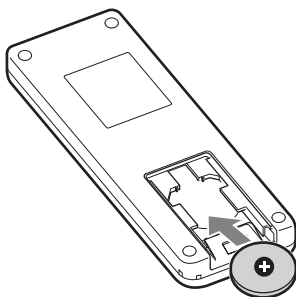
はさんである紙を図のように引き抜く。

リモコンを使うときは、リモコンを本体のリモコン受光部に向けてください。

電池を交換するには

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池に交換してください。リモコンには CR2025 リチウム電池を使います。

1 カバーを開け、電池を取り出す。

2 新しい CR2025 リチウム電池を入れる。

電池の ⊕ 面が上になるように入れます。

3 カバーを閉じる。

ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの乾電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物を入れないようにしてください。
- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  – 充電はしないでください。
  – リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  – 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。
- リモコン受光部（🅁）に直射日光や照明器具などの強い光を当てると誤動作の原因となります。

テレビに接続する

本機とテレビをつないで、本機に保存した画像をテレビで見ることができます。D 端子のあるテレビなら、付属のコンポーネント映像コード（D 端子用）を使うことで、より鮮明な画像を楽しめます。

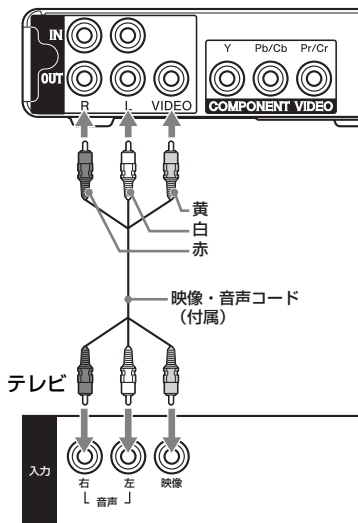
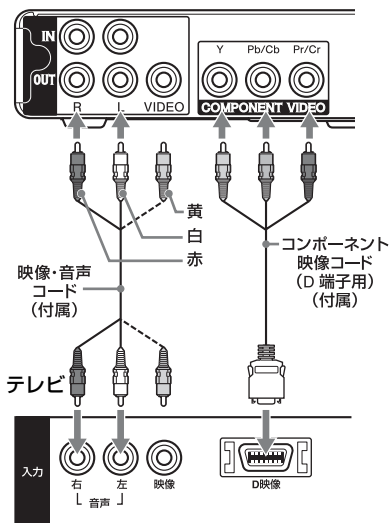
ご注意

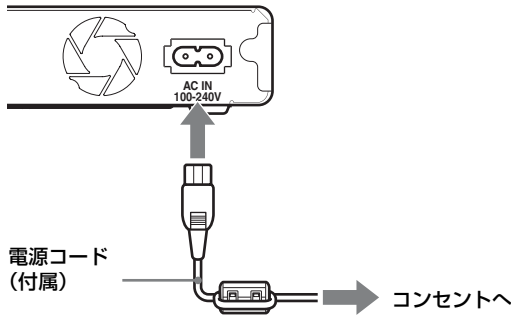
- ハイビジョン画質でご覧になるには、お使いのテレビが D 端子（D4、D5）または 750p（720p）に対応している必要があります。
- お使いのテレビに D 端子入力がなく、コンポーネント映像（色差）入力端子がある場合は、付属の D 端子用コードではなく、コンポーネント映像信号用のコードを別途お買い求めください。

1 本機とテレビを付属のコードを使って接続する。

テレビ（**D** 端子なし）
本機後面

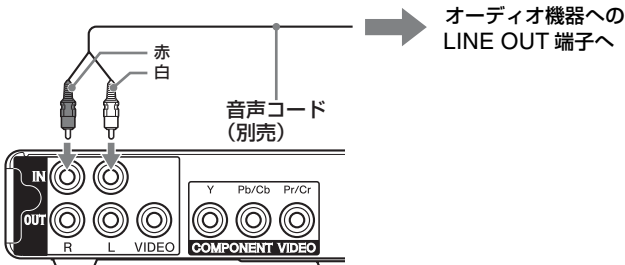
テレビ（**D** 端子あり）
本機後面

準備する

2 電源コードを接続する。

電源コードを本機の電源入力端子に接続し、もう一方をコンセントに差し込みます。

ご注意

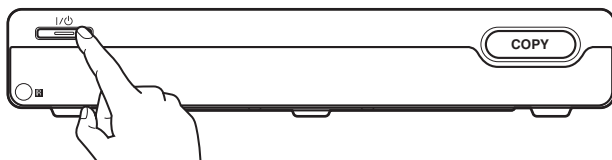
- D 端子にコンポーネント映像コード（D 端子用）を接続する場合は、映像・音声コードの音声プラグ（赤、白）を音声入力端子に接続してください。
- コンポーネント映像コードや映像・音声コードのプラグは、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 電源コードがコンセントに差し込まれているときは、I/⏻（電源）ボタンが赤く点灯します。
- 必ず付属の電源コードを使用してください。それ以外の電源コードを使用した場合の動作は保証できません。
- コンポーネント映像コードや映像・音声コードを接続し直した後は、必ず電源を入れ直してください。
- コード類を踏まないように注意してください。

外部オーディオ機器との接続

外部のオーディオ機器を本機に接続しておくと、スライドショーに合わせて音楽を流すことができます。
音声コード（別売り）を本機の IN（音声入力）端子に差し込み、もう一方をオーディオ機器の LINE OUT 端子に差し込みます。詳しくは、オーディオ装置の取扱説明書をご覧ください。

本機の電源を入れる

1 テレビの入力を切り換える。

2 電源コードを接続し、I/⏻（電源）ボタンを押す。

本体の I/⏻（電源）ボタンのランプが赤から緑に変わります。
初めて電源を入れたときは、時計を設定する画面が表示されます。設定方法については、「時計を合わせる」(20 ページ) をご覧ください。

ご注意

- 電源コードをコンセントに差し込むと、I/⏻（電源）ボタンが赤く点灯します。
- 画像などのファイルを管理するデータベースを作成するため、テレビに画像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。保存されているファイル数が多いほど、より時間がかかります。

電源を切る

本体またはリモコンの I/⏻（電源）ボタンを押します。
数秒して、本体の I/⏻（電源）ボタンのランプが緑から赤に変わります。
本機の状態によっては、電源が切れるまでに数分かかる場合があります。

ご注意

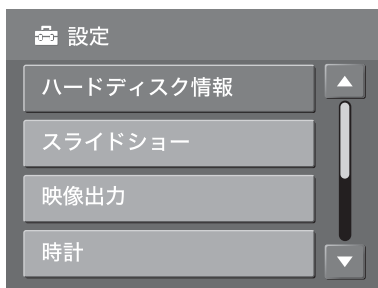
I/⏻（電源）ボタンが赤に変わる前に、電源コードをコンセントや電源入力端子から抜かないでください。故障の原因となります。

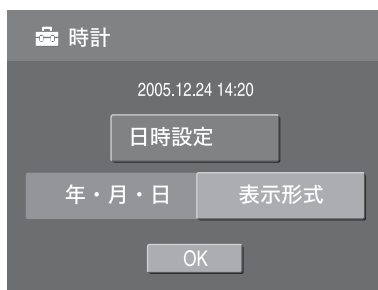
画面のメニューが動作しない場合

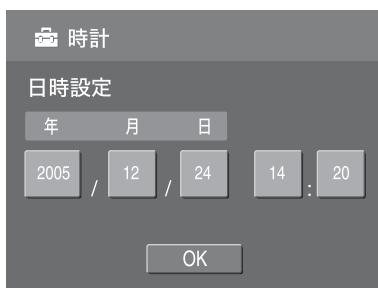
本機を強制終了させてください。詳しくは、「本機を強制終了するには」（64 ページ）をご覧ください。

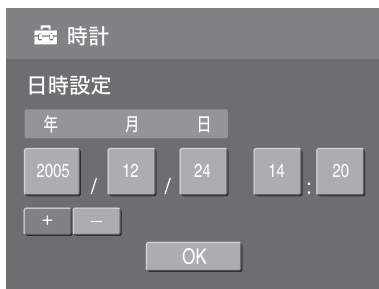
時計を合わせる

1 ↑/↓ ボタンで HOME メニューから[設定]を選択し、⊕ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 ↑/↓ ボタンで[時計]を選択し、⊕ボタンを押す。

時計の設定画面が表示されます。

3 ↑/↓ ボタンで[日時設定]を選択し、⊕ボタンを押す。

年月日および時刻を設定する画面が表示されます。

4 ←/→/↑/↓ボタンで設定したい項目(年、月、日、時、分)を選択し、⊕ボタンを押す。

+/− ボタンが項目の下に表示されます。

5 ←/→ ボタンで +/− ボタンを選択し、⊕ボタンを押す。

⊕ボタンを押すたびに、日時が変わります。

6 ↑ ボタンを押した後、⊕ボタンを押す。

選択した項目の日時が確定します。
ほかの項目を設定するときは、←/→ ボタンを押して項目を選択し、同じように日時を設定します。

7 ↑/↓ ボタンで[OK]を選択し、⊕ボタンを押す。

日時設定のトップメニューが表示されます。

8 ↑/↓ ボタンで[OK]を選択し、⊕ボタンを押す。

設定が終了すると、設定メニューが表示されます。

ご注意

本機で扱える日付は、1980年1月1日から2049年12月31日までです。

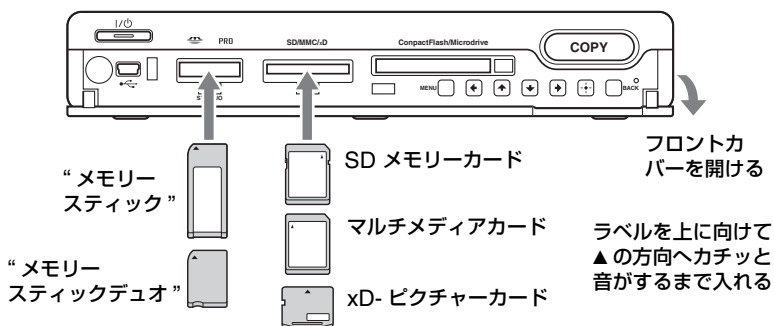
前の画面に戻るには

BACKボタンを押します。
HOMEボタンを押すと、HOMEメニューが表示されます。

メモリーカードを入れる／取り出す

“ メモリースティック ” または SD メモリーカード（SD）／マルチメディアカード（MMC）／ xD- ピクチャーカード（xD）を入れる

フロントカバーを開け、“ メモリースティック ”、または SD ／ MMC ／ xD カードをカチッと音がするまで押し込みます。

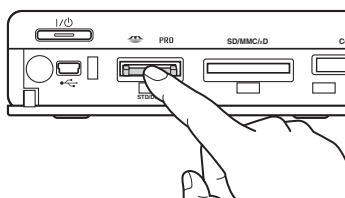
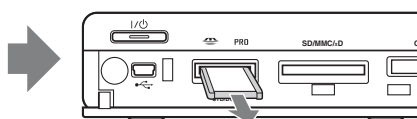
miniSD カードをご使用のときは、別売りの miniSD アダプターが必要です。

メモリーカードが認識されると、“ メモリースティック ” アクセスランプまたは SD ／ MMC ／ xD アクセスランプが点灯します。

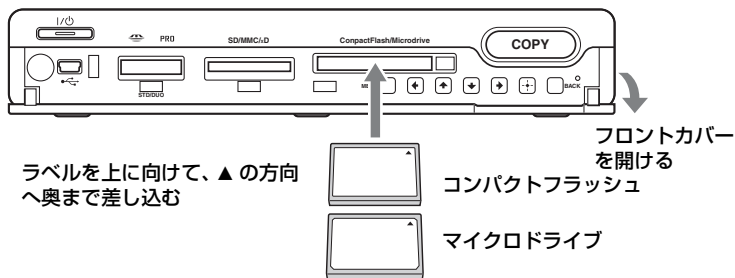
ご注意

本機では、標準の “ メモリースティック ” と “ メモリースティック デュオ ” のどちらのサイズも使用できます。“ メモリースティック ” のサイズを自動的に判定するため、“ メモリースティック デュオ ” アダプターは不要です。

“ メモリースティック ” または SD ／ MMC ／ xD カードを取り出す

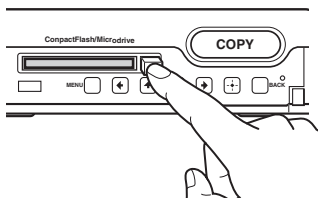
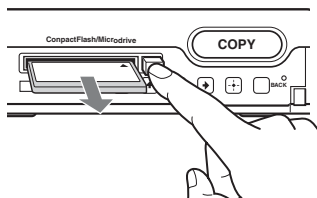
“メモリースティック”またはSD／MMC／xDカードをいったん奥まで押し込んでから手を離し、それから取り出します。

奥に押し込んでから手を離すと、“ メモリースティック ” または SD ／ MMC ／ xD カードが少し出てきます。

コンパクトフラッシュ(CF)／マイクロドライブを入れる

フロントカバーを開け、コンパクトフラッシュまたはマイクロドライブを奥まで差し込みます。

メモリーカードが認識されると、CF ／マイクロドライブアクセスランプが点灯します。

CF ／マイクロドライブを取り出す

イジェクトボタンを押し、それから CF ／マイクロドライブを取り出します。

イジェクトボタンを押し込んでから手を離すと、CF ／マイクロドライブが少し出てきます。

ご注意

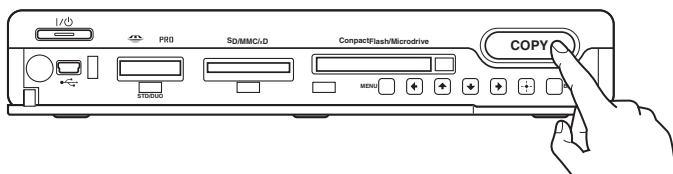
- メモリーカードを 2 枚以上差し込んだ場合、もっとも左側のスロットのメモリーカードが有効になります。
- ひとつのスロットに 2 枚以上のメモリーカードを差し込まないでください。故障の原因になります。
- メモリーカードは、向きを確かめてから入れてください。
- コピー中にメモリーカードを取り出さないでください。データ破損の原因になります。
- イジェクトボタンが出ているときは、フロントカバーを閉めないでください。
- miniSD カードをアダプターなしで使用すると、取り出せなくなるおそれがあります。
- メモリーカードは、幼児などが誤って飲み込まないよう、手の届かない場所に保管してください。
- フロントカバーに指を挟まないよう注意してください。

メモリーカードから画像をコピーする

COPY ボタンを押すだけで、メモリーカードから本機に画像をコピーできます。

1 **I/⏻（電源）ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

2 **フロントカバーを開け、メモリーカードを入れる。**
アクセスランプが点灯します。

3 **COPY ボタンを押す。**

コピーが開始します。
ハードディスク上に自動的にフォルダが作られ、画像がコピーされます。
コピーが終わると、ハードディスクの残り容量が表示されます。[OK] を選択して ボタンを押してください。

4 **メモリーカードを取り出す。**

ヒント

- パソコンから本機に画像をコピーすることもできます。「パソコンとつなぐ」（56 ページ）をご覧ください。
- メモリーカードを 2 枚以上差し込んだ場合、もっとも左側のスロットのメモリーカードが有効になります。
- 設定メニューで［メモリーカード消去］を設定した場合（54 ページ）、コピー終了後に確認画面が表示されます。
- メモリーカード内にあるすべてのファイルを一括コピーします。
- コピー中に本機の電源を切る操作をした場合は、コピーが終了してから電源が切れます。

ご注意

- データの転送速度は、メモリーカードや使用環境によって異なります。
- ほかの機器によってアクセスが制限されているメモリーカードのデータは、読み込みやハードディスクへのコピーができません。ほかの機器からのアクセス制限を無効にしてください。
- マジックゲート対応のデータはコピーできますが、本機での再生はできません。

画像を撮影日ごとに分ける(コピー実行直後)には

設定メニューの［撮影日で分割］を［ON］に設定します（54 ページ）。
お買い上げ時には、［OFF］になっています。

コピー後メモリーカードの画像を消去しないようにするには

設定メニューの［メモリーカード消去］を［OFF］に設定します（54 ページ）。
お買い上げ時には、［ON］になっています。

コピーを途中でやめるには

［キャンセル］を選び、⊕ボタンを押します。

ハードディスクの残り容量を確認するには

設定メニューで［ハードディスク情報］を選択します（53 ページ）。

画像の保存先とフォルダ名

メモリーカードからハードディスクに画像をコピーすると、自動的にフォルダが作成され、その中に画像が保存されます。フォルダ名は、コピーした中で最新の画像の撮影日と同じ名称になります（例：20060901.001）。同じ日付ですでにフォルダがある場合は、拡張子の数字が繰り上がります（例：20060901.002、.003）。日付のない画像をコピーしたときは、「19800000.xxx」というフォルダに保存されます。

ご注意

本機で扱える日付は、1980 年 1 月 1 日から 2049 年 12 月 31 日までです。

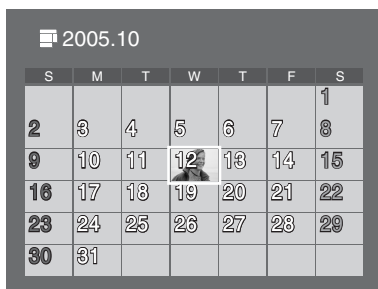
日付で画像を選ぶ

カレンダー画面で撮影した日付を選んで、画像を探せます。

ご注意

本機で扱える日付は、1980 年 1 月 1 日から 2049 年 12 月 31 日までです。

1 ↑/↓ボタンでHOMEメニューの[カレンダー]を選択し、⊕ボタンを押す。

カレンダー画面が表示されます。
ほかの月のカレンダーを表示するには、PAGE UP/DOWN ボタンを押します。

2 ←/→/↑/↓ ボタンで日付を選択し、⊕ボタンを押す。

選択した日付のフォルダが表示されます。

3 ↑/↓ ボタンでフォルダを選択し、⊕ ボタンを押す。

サムネイル画面が表示されます。

4 ←/→/↑/↓ ボタンでサムネイルを選択し、⊕ ボタンを押す。

選択した画像がフル画面で表示されます。
前後の画像を表示したいときは、←/→ ボタンを押してください。

ヒント

［画面表示］を設定すると、画像以外のファイル（MPEG ファイルなど）もサムネイル表示できます。詳しくは、「画面表示」（54 ページ）をご覧ください。

ご注意

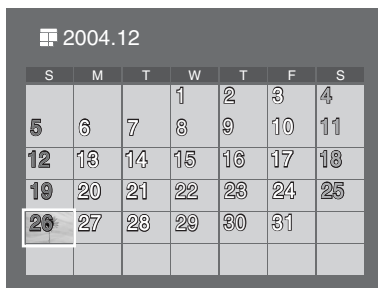
本機以外で画像を加工すると、本機で再生できない場合があります。

前の画面に戻るには

BACK ボタンを押します。
HOME メニューに戻るには、HOME ボタンを押します。

撮影日を指定して検索する

撮影日を直接指定して、画像を探せます。過去に撮影した画像を表示したいときなどに便利です。

1 カレンダー画面を表示し、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。

2 ↑/↓ ボタンで[日付検索]を選択し、⊕ ボタンを押す。

日付検索画面が表示されます。

3 ←/→/↑/↓ ボタンで年月日を設定し、⊕ ボタンを押す。

4 ←/→/↑/↓ ボタンで[OK]を選択し、⊕ ボタンを押す。

指定した日付を含むカレンダー画面が表示されます。

メニュー一覧を閉じるには

MENU ボタンを押してください。

フォルダ名で画像を選ぶ

フォルダ画面で画像を探して、表示できます。

1 ↑/↓ボタンでHOMEメニューから[フォルダ]を選択し、⊕ボタンを押す。

フォルダ画面が表示されます。
前後のページを表示するには、PAGE UP/DOWN ボタンを押します。

2 ↑/↓ ボタンでフォルダを選択し、⊕ ボタンを押す。

サムネイル画面が表示されます。

3　←/→/↑/↓ ボタンで画像を選択し、⊕ ボタンを押す。

選択した画像がフル画面で表示されます。
前後の画像を表示したいときは、←/→ ボタンを押してください。

ヒント

［画面表示］を設定すると、画像以外のファイル（MPEG ファイルなど）もサムネイル表示できます。詳しくは、「画面表示」（54 ページ）をご覧ください。

ご注意

本機以外で画像を加工すると、本機で再生できない場合があります。

前の画面に戻るには

BACK ボタンを押します。
HOME メニューに戻るには、HOME ボタンを押します。

撮影日で検索してフォルダを表示する

日付を指定してフォルダを選べます。目的のフォルダが見つけやすくなります。

ご注意

本機で扱える日付は、1980 年 1 月 1 日から 2049 年 12 月 31 日までです。

1 フォルダ画面を表示し、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。

2 ↑/↓ ボタンで[日付検索]を選択し、⊕ ボタンを押す。

日付検索画面が表示されます。

3 ←/→/↑/↓ ボタンで年月日を設定し、⊕ ボタンを押す。

4 ←/→/↑/↓ ボタンで[OK]を選択し、⊕ ボタンを押す。

フォルダ画面が表示され、指定した日付がハイライト表示されます。

メニュー一覧を閉じるには

MENU ボタンを押してください。

画像をテレビに表示する

画像を拡大・縮小して表示する（ズーム表示）

画像を拡大・縮小して表示できます。画像を表示する手順については、26 ページおよび 30 ページをご覧ください。

1 画像をフル画面表示し、⊕ボタンを押す。

画像が拡大表示されます。
⊕ボタンを押している間、ズーム倍率が画面に表示されます。

縮小する場合は、⊖ボタンを押します。

2 ←/→/↑/↓ ボタンで表示位置を調整する。

サムネイル画面に戻ると、画像は元のサイズに戻ります。

ヒント

次の操作でもズーム表示ができます。

① 画像をフル画面表示して、MENU ボタンを押す。
② ←/→/↑/↓ ボタンで［拡大］を選択し、⊕ ボタンを押す。
③ 拡大するときは → ボタン、縮小するときは ← ボタンを押し、希望の倍率になったら⊕を押す。
④ ←/→/↑/↓ ボタンで、表示位置を調整する。
前後の画像を表示するには、等倍表示にして ←/→ ボタンを押します。

前の画面に戻るには

BACK ボタンを押します。
HOME メニューに戻るには、HOME ボタンを押します。

画像を回転させる

画像を回転させることができます。画像を表示する手順については、26 ページおよび 30 ページをご覧ください。

1 画像をフル画面表示し、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。

2 ←/→ ボタンで [回転] を選択し、⊕ ボタンを押す。

⊿/⊿ マークが画面に表示されます。

3 時計回りに回転させるときは、→ ボタンを押して画像を回転させてから、⊕ ボタンを押す。

1 回 → ボタンを押すごとに 90 度回転します。
反時計回りに回転させるときは ← ボタンを押します。

⊕ ボタンを押すと、画像の向きが確定します。

ヒント

- 画像がフル画面表示されているときに PAGE UP ボタン（時計回り）、PAGE DOWN（反時計回り）ボタンを押しても、画像が回転します。

- 回転した画像はそのままサムネイル画面に表示されます。
- 回転した画像は自動的に複製され保存されます。回転前の画像は ORG の拡張子で保存され、本機では認識されず、「？」アイコンで表示されます。テレビに表示するには、ファイルをパソコンにコピーして拡張子を ORG から JPG に変更してください。「？」アイコンについては、「画面表示」（54 ページ）をご覧ください。
- Exif* の回転情報がない画像では、回転した結果が保存されません。

* Exif とは、社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）によって策定された、撮影時の様々な付属情報を記録するための画像ファイルフォーマットです。

前の画面に戻るには

BACK ボタンを押します。
HOME メニューに戻るには、HOME ボタンを押します。

スライドショーを行う

音楽付きスライドショーで画像を楽しめます。

1 スライドショーで見たいフォルダをフォルダ画面で選択し、 ボタンを押す。

スライドショー画面が表示されます。

2 ↑/↓ ボタンで[再生]を選択し、 ボタンを押す。

スライドショーの再生が始まります。
スライドショーを一時停止するときは、 ボタンを押します。再開するときは、もう一度 ボタンを押します。

ご注意

- 画像によっては、初めてスライドショーを実行する時に、始まるまでに時間が掛かったり、繰り返し表示されることがあります。
- 音量が大きすぎないように注意してください。
- スライドショーでは、画面全体に画像を表示させています。そのため、縦長の画像では上下が切られて表示されることがあります。画像全体をご覧になるには、フル画面表示を使用してください。

ヒント

- サムネイル画面またはフォルダ画面のメニュー一覧から［スライドショー］を実行することもできます。
- 複数の画像やフォルダを指定してスライドショーを行えます。

スライドショーを停止するには

スライドショーの再生中に、BACK ボタンを押します。

スライドショーの初期設定をする

スライドショーのテーマと BGM の初期設定を変更できます。「スライドショー」(53 ページ)をご覧ください。

画像またはフォルダを複数選択する

画像やフォルダをまとめて操作できます。複数の画像やフォルダを一括して消去する場合や、スライドショーを行う場合に便利です。

1 サムネイル画面またはフォルダ画面を表示して、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。

例:サムネイル画面のメニュー

2 ←/→/↑/↓ ボタンで[複数選択]を選択し、⊕ ボタンを押す。

3 ←/→/↑/↓ ボタンで画像やフォルダを選択し、⊕ ボタンを押す。

選択を解除するには、再度その画像やフォルダを選択して、⊕ ボタンを押します。

続けてほかの画像やフォルダを選択するときは、←/→/↑/↓ ボタンを押して画像やフォルダを選択し、⊕ ボタンを押します。

4 選択が終わったら、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。
メニューの操作については、各メニューの説明をご覧ください。

選択をすべて解除するには

MENU ボタンを押し、←/→/↑/↓ ボタンでメニューの[選択終了]を選択し、⊕ ボタンを押す。

グループに画像を登録する

グループ分けすることで、画像を整理できます。また、グループ単位でスライドショーを実行できます。

1 **サムネイル画面またはフォルダ画面を表示する。**

2 **←/→/↑/↓ ボタンで画像を選択し、MENU ボタンを押す。**

メニュー一覧が表示されます。

例:フォルダ画面のメニュー

3 **←/→/↑/↓ ボタンで[グループに登録]を選択し、⊕ ボタンを押す。**

[グループに登録]画面が表示されます。

4 **↑/↓ ボタンで、画像を登録するグループを選択し、⊕ ボタンを押す。**

新しいグループを作成する場合は、[新規作成]を選択して、⊕ ボタンを押します。

グループ名は自動的に作成されます。

確認画面が表示されます。

5 ←/→ ボタンで[OK]を選択し、⊕ボタンを押す。

選択した画像がグループに登録されます。

ヒント

- 複数の画像をまとめて選択して、グループに登録できます。複数の画像を選択する手順については、38 ページをご覧ください。
- 同じ画像を複数のグループに登録できます。
- フォルダをグループに登録した場合は、フォルダ内のすべての画像がグループに登録されます。
- グループは、最大 999 個作成できます。

グループから画像を消去するには

1 ↑/↓ボタンでHOMEメニューから[グループ]を選択し、⊕ボタンを押す。

グループ画面が表示されます。

2 消去したい画像のあるグループを ↑/↓ ボタンで選択し、⊕ボタンを押す。

サムネイル画面が表示されます。

3 消去したい画像を ←/→/↑/↓ ボタンで選択し、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。

4 ←/→/↑/↓ ボタンで[登録からはずす]を選択し、⊕ ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

5 ←/→ ボタンで[OK]を選択し、⊕ ボタンを押す。

選択した画像がグループから消去されます。消去が終了するとメッセージが表示されます。[OK]を選択して⊕ ボタンを押してください。

ヒント

グループの画像をすべて消去すると、そのグループも消去されます。

画像の管理

グループに登録されている画像を表示する

1 ⬆/⬇ボタンでHOMEメニューから[グループ]を選択し、⊕ボタンを押す。

グループ画面が表示されます。

2 表示したい画像のあるグループを⬆/⬇ボタンで選択し、⊕ボタンを押す。

サムネイル画面が表示されます。

3 ⬅/➡/⬆/⬇ボタンで画像を選択し、⊕ボタンを押す。

選択した画像がフル画面で表示されます。

前後の画像を表示するには、⬅/➡ボタンを押します。

前の画面に戻るには

BACK ボタンを押します。

HOME メニューに戻るには、HOME ボタンを押します。

グループ番号で探す

グループの番号を使ってグループを探せます。

1 **↑/↓ボタンでHOMEメニューから[グループ]を選択し、⊕ボタンを押す。**

グループ画面が表示されます。

2 **MENU ボタンを押す。**

メニュー一覧が表示されます。

3 ←/→/↑/↓ ボタンで［グループ検索］を選択し、⊕ ボタンを押す。

［グループ検索］画面が表示されます。

4 ←/→ ボタンでグループ番号を設定し、⊕ ボタンを押す。

5 ↑/↓ ボタンを使って［OK］を選択し、⊕ ボタンを押す。

グループ一覧が表示されます。

画像やフォルダを消去する

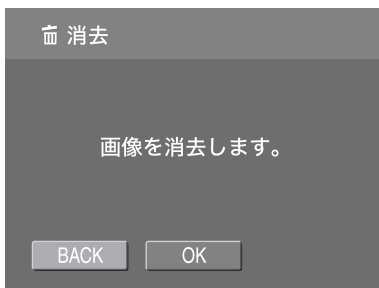
1 **サムネイル画面またはフォルダ画面を表示する。**

2 **消去したい画像またはフォルダを←/→/↑/↓ボタンで選択し、MENUボタンを押す。**

メニュー一覧が表示されます。

例：サムネイル画面のメニュー

3 **←/→/↑/↓ ボタンで［消去］を選択し、⊕ ボタンを押す。**

確認画面が表示されます。

4 **←/→ ボタンで［OK］を選択し、⊕ ボタンを押す。**

選択した画像またはフォルダが消去されます。

消去が終了するとメッセージが表示されます。［OK］を選択して⊕ ボタンを押してください。

画像やフォルダの詳細情報を表示する

画像やフォルダについて、名称、サイズ、撮影日などの情報を表示できます。

1 **サムネイル画面またはフォルダ画面を表示する。**

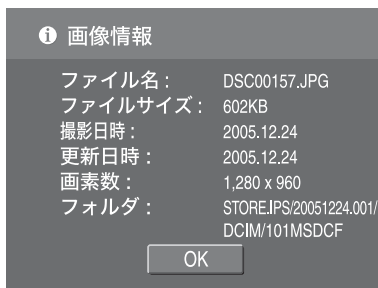
2 **←/→/↑/↓ボタンで画像またはフォルダを選択し、MENUボタンを押す。**

メニュー一覧が表示されます。

例：サムネイル画面のメニュー

3 **←/→/↑/↓ ボタンで［画像情報］または［フォルダ情報］を選択して、⊕ボタンを押す。**

選択した画像またはフォルダの情報を示す画面が表示されます。

画像情報の表示例

［OK］を選択して⊕ボタンを押すと、サムネイル画面またはフォルダ画面に戻ります。

画像を撮影日ごとに分ける

メモリーカードから画像をコピーすると、メモリーカード内の最新の画像の日付と同じ名称のフォルダが自動的に作成され、その中にすべての画像が保存されます。メニュー一覧にある［撮影日で分割］機能を使うと、画像の撮影日ごとにフォルダが作られ、画像が保存されます。

ご注意

本機で扱える日付は、1980 年 1 月 1 日から 2049 年 12 月 31 日までです。

1 フォルダ画面を表示する。

2 画像を整理したいフォルダを ↑/↓ ボタンで選択し、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。

3 ←/→/↑/↓ ボタンで［撮影日で分割］を選択し、⊕ ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

4 ←/→ ボタンで［OK］を選択し、⊕ ボタンを押す。

撮影日ごとにフォルダが作成されます。
画像は、それぞれの撮影日のフォルダに保存されます。

画像を撮影日ごとに分ける（コピー実行直後）

下記の設定をすると、メモリーカードからのコピーが終了した後、確認メッセージが表示されます。［OK］を選ぶとコピーされた画像が撮影日ごとのフォルダに分けて保存されます。
この機能は、お買い上げ時には［OFF］（無効）になっています。
（詳しくは、「撮影日で分割」(54 ページ) をご覧ください。）

1 HOME メニューから［設定］－［撮影日で分割］を選択する。

2 設定を［ON］にする。

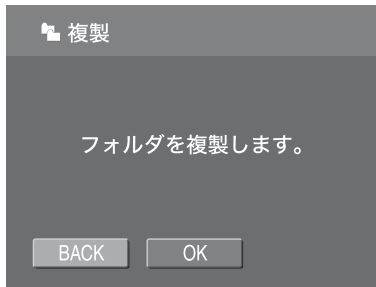
フォルダを複製する

フォルダを複製することで大切な画像のバックアップが取れます。

1 フォルダ画面を表示し、MENU ボタンを押す。

メニュー一覧が表示されます。

2 ←/→/↑/↓ ボタンで[複製]を選択し、⊕ ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

3 ←/→ ボタンで[OK]を選択し、⊕ ボタンを押す。

選択したフォルダが複製されます。

複製フォルダの名称は、通常、元のフォルダ名の拡張子に 1 プラスした数字になります。

複製が終了するとメッセージが表示されます。[OK]を選択して、⊕ ボタンを押してください。

複製を途中でやめるには

上記 3 で複製中に、［キャンセル］を選択して、⊕ ボタンを押します。

画像やフォルダをメモリーカードに書き出す

ハードディスク内の画像やフォルダをメモリーカードに書き出せます。

1 **本機にメモリーカードを入れる。**

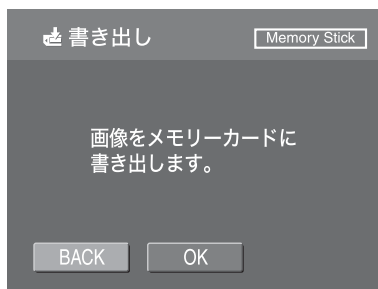
2 **サムネイル画面またはフォルダ画面を表示する。**

3 **←/→/↑/↓ボタンで画像またはフォルダを選択し、MENUボタンを押す。**

メニュー一覧が表示されます。

例:サムネイル画面のメニュー

4 **←/→/↑/↓ ボタンで[書き出し]を選択し、⊕ ボタンを押す。**

確認画面が表示されます。

5 **←/→ ボタンで[OK]を選択し、⊕ ボタンを押す。**

メモリーカードへ書き出します。

終了するとメッセージが表示されます。[OK]を選択して、⊕ボタンを押してください。

ヒント

- メモリカードに書き出した画像は、DCF に準拠したファイル名やフォルダ名に書き換えられて保存されます。
- 複数の画像を書き出すときは、複数選択機能を使うと便利です。複数の画像を選択する手順については、38 ページをご覧ください。フォルダを複数書き出すことはできません。
- メモリーカードを 2 枚以上差し込んだ場合、もっとも左側のスロットのメモリーカードが有効になります。
- メモリーカードにすでにデータが入っている場合は、フォルダの書き出しができません。ただし、画像は書き出せます。
- デジタルカメラによってはフォーマット後にフォルダなどが作成される場合があります。その場合にはフォルダの書き出しができないため、サムネイル画面で画像を選択し、書き出してください。
- メモリーカードに書き出した画像を携帯電話やゲーム機で表示する方法については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 書き出し中に本機の電源を切る操作をした場合は、書き出しが終了してから電源が切れます。

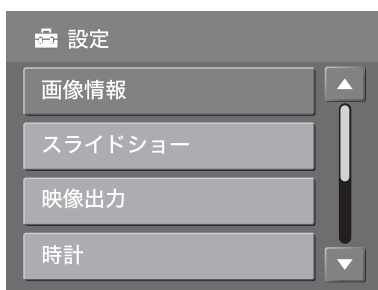
書き出しを途中でやめるには

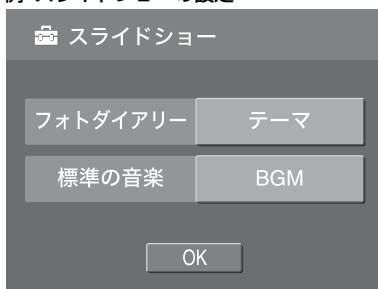
上記 5 で書き出し中に、[キャンセル] を選択して⊕ボタンを押します。

本機の設定を変更する

スライドショーや画面表示などさまざまな設定を行えます。設定項目の詳細については、「設定できる項目」（53 ページ）をご覧ください。

1 ↑/↓ ボタンで HOME メニューから [設定] を選択し、⊕ ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

2 設定を変更したい項目を ↑/↓ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

例：スライドショーの設定

3 ←/→/↑/↓ ボタンで各項目の設定を行い、⊕ ボタンを押す。

4 ↑/↓ ボタンで [OK] を選択し、⊕ ボタンを押す。

設定が終了すると、設定メニューに戻ります。

設定できる項目

次の項目を設定できます。

ハードディスク情報

ハードディスクの総容量、使用容量、空き容量を表示します。

スライドショー

スライドショーのテーマと BGM の初期設定をします。
スライドショーの詳細については、「スライドショーを行う」（37 ページ）をご覧ください。

テーマ	スライドショーのテーマを設定します。一覧から選択します。
BGM	スライドショーの BGM を設定します。標準の音楽、外部オーディオ機器、およびハードディスクの MUSIC フォルダにコピーした音楽の中から、使用する音楽を選びます。

* MUSIC フォルダの音楽を再生するには、パソコンから本機へ音楽ファイルをコピーしておく必要があります。音楽ファイルは、「8 文字以内の英数字」と「ピリオド（ .）」、「3 文字の拡張子（WAV）」（例：“ABCD0002.WAV”）という形式にしてください。フォルダ構成については、「画像の保存先」（60 ページ）をご覧ください。

映像出力

NTSC/PAL	テレビに接続する際の映像出力信号（カラー）の種類を設定します。[NTSC] か [PAL] を選択します。
コンポーネント	コンポーネント出力信号の種類を設定します。[720p]（16:9）か [480i]（4:3）を選択します。

時計

時刻設定の手順については、「時計を合わせる」（20 ページ）をご覧ください。

日時設定	年月日、時刻を設定します。
表示形式	年月日を表示する際の表示順を設定します。

デモモード

本機の電源を入れたときに、自動的にデモを始めるかどうかを設定します。
デモを終了するには、本機の I/⏻（電源）ボタンを押してください。
お買い上げ時には、［OFF］になっています。

ヒント

［デモモード］が［ON］のときに、自動的にデモを始めないようにするには、本機の電源を入れて表示画面の指示に従い、15 秒の内に電源以外のボタンを押してください。その後、設定メニューから［デモモード］を選択し、［OFF］に変更してください。

言語

画面表示に使う言語を設定します。

画面表示

フォルダの中にある、画像以外のファイルをサムネイル画面に表示します。画像以外のファイル（例：MPEG ファイル）は、「？」アイコンで表示されます。

撮影日で分割

メモリーカードからのコピーが終了した後、確認メッセージが表示されます。［OK］を選ぶと、コピーされた画像が撮影日ごとのフォルダに分けて保存されます。
すでに保存されている画像を撮影日ごとに分けて保存する方法については、「画像を撮影日ごとに分ける」（47 ページ）をご覧ください。

画像のインポート

パソコンから本機のハードディスクにコピーした画像を表示する場合、本機が対応している画像フォーマットへ変換する必要があります。
変換方法の詳細については、「画像を変換するには」（61 ページ）をご覧ください。

メモリーカード消去

メモリーカードから本機のハードディスクへ画像をコピーした後、メモリーカード内のすべての画像を自動的に消去します。

ご注意

本機を使ってメモリーカード内のファイルを消去した場合、デジタルカメラでの撮影時に、メモリーカードへのデータ保存ができなくなることがあります。その場合は、デジタルカメラでメモリーカードを初期化してください。

設定の初期化

本機のすべての設定を初期設定に戻します。ハードディスク内の画像は消去されません。

ハードディスクの初期化

本機のハードディスクを初期化します。初期化すると、保存していた画像はすべて消去されますので、ご注意ください。
ハードディスクを初期化するには、まず、設定メニューで［ハードディスクの初期化］を選択します。［OK］を選択して、⊕ボタンを押すと、初期化が自動的に始まります。初期化が終了したら、⊕ボタンを押してください。
本機の設定は、ハードディスクを初期化しても変更されません。本機の設定を初期設定に戻す場合は、設定メニューで［設定の初期化］を選択します。

ご注意

パソコンを使って本機のハードディスクを初期化しないでください。

ソフトウェア アップデート

本機のソフトウェアをアップデートします。

本機とパソコンを準備する

パソコンの推奨使用環境

本機は、下記の対応 OS がプリインストールされていて USB ポートを標準装備しているパソコンで使用できます。

Windows

- Windows XP Professional（Service Pack 1 以降）
- Windows XP Home Edition（Service Pack 1 以降）
- Windows 2000 Professional（Service Pack 4 以降）
- Windows Me

Macintosh

- Mac OS X （10.4 以降）

ご注意

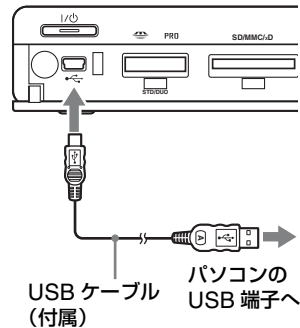
- 上記 OS でもマルチブート環境やアップグレード環境の場合は、動作を保証いたしません。
- 後から追加した USB インターフェースカードや USB CardBus カードなどをお使いの場合は、動作を保証いたしません。

パソコンと接続するには

本機とパソコンを USB でつなぐ手順を説明します。

1 **本機に電源コードを接続し、I/⏻（電源）ボタンを押す。**

2 **本機のフロントカバーを開き、USB ケーブルを本機の USB 端子につなぐ。**

3 **USBケーブルのもう一方をパソコンにつなぐ。**

ご注意

USB ハブを経由して接続した場合は、動作を保証いたしません。本機とパソコンを直接つないでください。

ヒント

パソコンと本機を初めてつないだときは、自動的に必要なプログラムがパソコンにインストールされます。

パソコンに画像やフォルダをコピーする

本機をパソコンにつなぐと、外付けのハードディスクドライブとして使えます。本機のハードディスクにある画像の編集などが行えます。

ここでは例として、本機の画像やフォルダを Windows XP が動作するパソコンの［マイドキュメント］フォルダにコピーする手順を説明します。パソコンにある画像を本機にコピーする場合も同様の手順で行えます。
Windows 2000 や Windows Me をお使いの場合は、表示されるメッセージが異なることがあります。

ご注意

本機をパソコンにつないでいるときは、本機にあるボタンとリモコンは使用できません。

Windows をお使いの場合

1 ［マイコンピュータ］を開く。

［マイコンピュータ］には、本機のハードディスクが次のように表示されます。

本機のハードディスク

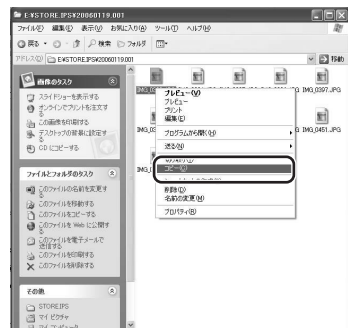
2 ［リムーバブルディスク(E:)］をダブルクリックする。

ハードディスクの内容が表示されます。

3 ［STORE.IPS］をダブルクリックする。

ハードディスク内の画像やフォルダが表示されます。フォルダ名の詳細については、「画像の保存先」(60ページ)をご覧ください。

4 コピーしたい画像があるフォルダをダブルクリックする。

5 画像を右クリックしてメニューを出し、［コピー］を選択する。

6 [マイドキュメント]を開く。

7 右クリックでメニューを出し、[貼り付け]を選択する。

[マイドキュメント]フォルダに画像がコピーされます。

ヒント

ドライブ文字（「E:」など）は、お使いのパソコンによって異なります。

コピー先に同じ名前の画像がある場合は

元の画像を上書きしてもよいかどうか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元の画像は消え、復元できません。上書きしないでコピーする場合は、別の名称に変更してください。

パソコンからUSBケーブルを抜くには

1 タスクトレイのアイコンをクリックする。

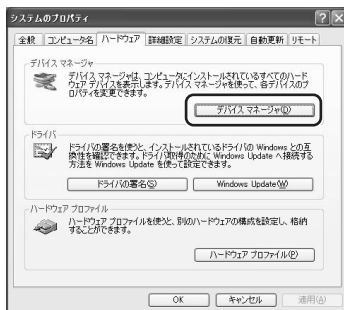
2 [USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(E:)を安全に取り外します]をクリックする。

3 取り外すドライブを確認して、[OK]をクリックする。

4 USBケーブルを抜く。

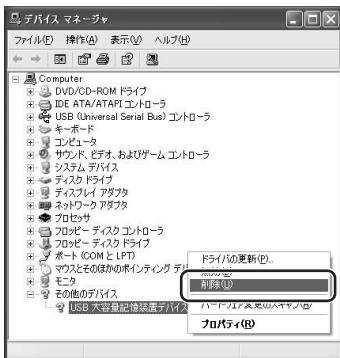
本機のドライブがパソコンに表示されない場合は

1 [マイコンピュータ]を右クリックしてメニューを出し、[プロパティ]をクリックする。

「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャー]をクリックする。

「デバイスマネージャー」が表示されます。

3 別のデバイスが表示されていないか確認し、表示されていたら削除する。

① マークの付いた「USB 大容量記憶装置デバイス」がないか確認する。表示されていたら、右クリックしてメニューを出し、[削除]をクリックする。同様に「ディスクドライブ」も確認する。

「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

② [OK]をクリックする。

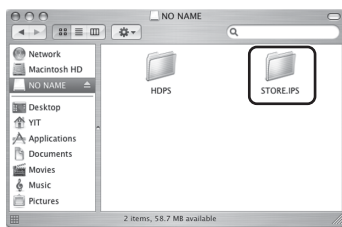
デバイスを削除したらいったん USB ケーブルを抜き、つなぎ直してください。

Macintosh をお使いの場合

本機を USB ケーブルで Macintosh につなげると、デスクトップに本機のハードディスクのアイコンが表示されます。

1 **デスクトップに新しく表示されたアイコンをダブルクリックする。**

本機のハードディスクの内容が表示されます。

2 **[STORE.IPS]をダブルクリックする。**

本機のハードディスクに保存されている画像やフォルダが表示されます。フォルダ名の詳細については、「画像の保存先」(60 ページ)をご覧ください。

3 **パソコンにコピーしたい画像のあるフォルダをダブルクリックする。**

4 **画像をハードディスクアイコンまでドラッグする。**

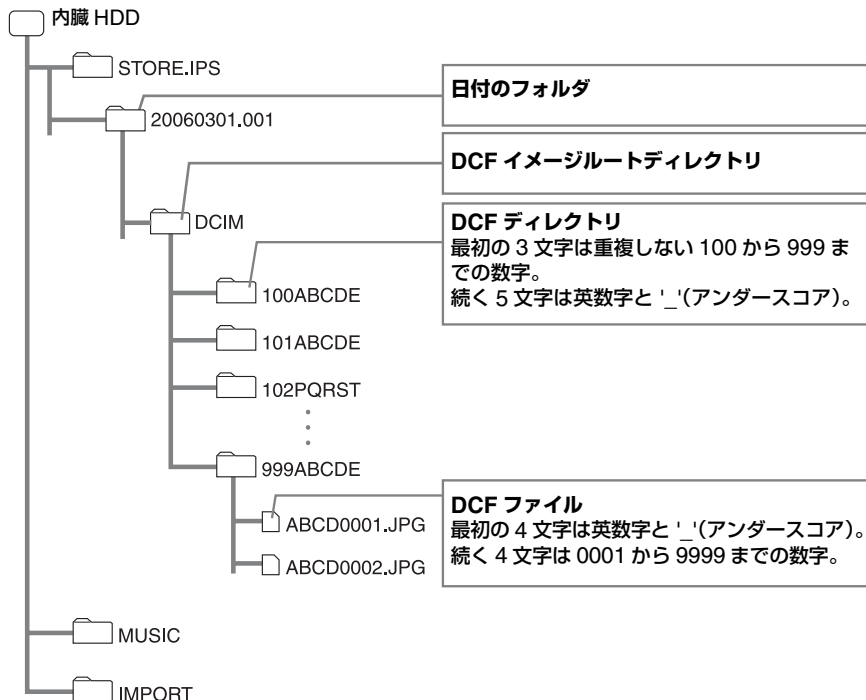
画像がパソコンのハードディスクにコピーされます。

USB ケーブルを抜くには

1 **本機のハードディスクのアイコンをごみ箱までドラッグする。**

2 **パソコンからUSBケーブルを抜く。**

画像の保存先

本機のハードディスクにコピーされた画像は次のようなフォルダ構成で保存されます。

ヒント

- パソコンから本機のハードディスクに画像をコピーするときは、DCF のフォルダやファイル構成に従って、「STORE.IPS」フォルダの中にある日付のフォルダ(例:20060301.001、20060401.002)に画像を保存してください。日付のフォルダにある画像のみ認識されます。

  * 設定メニューの[画像のインポート]によって、自動的に本機で表示できる画像フォーマットに変換できます。変換方法の詳細については、「画像を変換するには」(61 ページ)をご覧ください。
- スライドショー用の音楽ファイルは、MUSIC フォルダに保存してください。

画像を変換するには

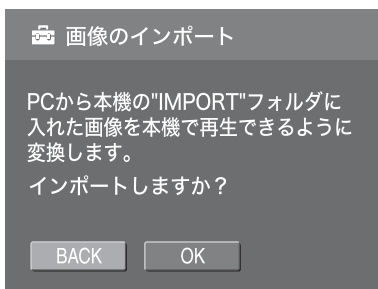
パソコンからコピーした画像を本機で表示する場合、DCFに準拠した画像であっても、本機で表示できるフォルダやファイル構成に変換する必要があります。（パソコンからコピーした元の画像は変更されません。）

1 変換するファイルをIMPORTフォルダに保存する。

2 ↑/↓ボタンでHOMEメニューから[設定]を選択し、⊕ボタンを押す。

設定メニューが表示されます。

3 ↑/↓ボタンで[画像のインポート]を選択し、⊕ボタンを押す。

確認画面が表示されます。

4 [OK]を選択して、⊕ボタンを押す。

変換が行われます。
変換が終了すると、メッセージが表示されます。[OK]を選択して、⊕ボタンを押してください。

ヒント

- 本機では、DCF（Design rule for Camera File system）に準拠したJPEGおよびRAW* ファイルに対応しています。（DCFに準拠するすべてのJPEGおよびRAWファイルの表示を保証するものではありません。）

* 本機で表示できるRAWファイルフォーマットの詳細については、「主な仕様」の「対応ファイル形式」(68ページ)をご覧ください。

- 画像を変換すると、フォルダごとにCONVERT.TXTというファイルが生成されます。このファイルには、変換前と変換後のファイル名やフォルダ名がそれぞれ記録されます。ファイル名やフォルダ名が8文字＋3文字の形式になっていない場合は、短縮形で記録されます。

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、下記の項目をもう一度チェックしてください。また、お使いのパソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

メモリーカードについて

メモリーカードのアクセスランプが点灯しない。メモリーカードが認識されない。

→ メモリーカードを取り出して、入れ直してください。
メモリーカードを 2 枚以上差し込んだ場合、もっとも左側のスロットのメモリーカードが認識されます。

コピーについて

コピーすると、メモリーカード内の画像とフォルダが消去されてしまう。

→ 設定メニューの[メモリーカード消去]を[OFF]にしてください。

コピーした画像が撮影日ごとに分けられて保存されてしまう。

→ 設定メニューの[撮影日で分割]を[OFF]にしてください。

コピーした画像が「19800000.xxx」という名称のフォルダに保存されてしまう。

→ コピーした画像に撮影日情報がない場合は、「19800000.xxx」というフォルダに保存されます。

画像について

撮影日の名称のフォルダがない。

→ フォルダ名は、コピーしたメモリーカード内にある画像の最新の撮影日または更新日に基づいて付けられます。詳しくは、「画像の保存先とフォルダ名」(25 ページ)および「画像の保存先」(60 ページ)をご覧ください。

一部のフォルダしか表示されない。

→ カレンダー画面からフォルダを選択したときは、選択した日付のフォルダしか表示されません。
すべてのフォルダを表示するには、HOME メニューで[フォルダ]を選択してください。

サムネイル画面に「？」アイコンが表示される。

→ 画像以外のファイルや再生できない画像ファイルは、サムネイル画面に「？」アイコンで表示されます。本機以外で画像を加工すると、本機で再生できない場合があります。

画像やサムネイルの表示、スライドショーの実行に時間が掛かる。

→ 画像のサイズやファイル形式によっては時間が掛かる場合があります。

画像が表示されない。

→ フォルダ構成がDCFに準拠していない可能性があります。パソコンに接続し、フォルダ構成をご確認ください。詳しくは、「画像の保存先」(60 ページ)をご覧ください。

テレビについて

画像がテレビに表示されない。

→ 設定メニューの[映像出力]を確認してください。設定を変更したらいったん本機の電源を切ってください。
設定を変更しても画像が表示されない場合は、いったん本機の電源を切り、⬆ ボタンを押しながら電源を入れてください。

– コンポーネント出力をご使用の場合

テレビの設定およびコンポーネント映像コードの接続を確認してください。その後、電源を入れ直してください。

– NTSC/PAL 出力をご使用の場合

映像・音声コードの接続を確認してください。コンポーネント映像コードが接続されていると、コンポーネント接続が優先されます。その場合は、コンポーネント映像コードを抜いて電源を入れ直してください。

スライドショーについて

スライドショー用の音楽が選択できない。

→ WAV ファイルが MUSIC フォルダに保存されているかどうか確認してください。

音楽ファイルの名称が正しく表示されない。

→ 音楽ファイルの名称が 8 文字以内で、拡張子が WAV(例:"ABCD0002.WAV")になっているか確認してください。

スライドショー実行時に音楽が再生されない。

– スライドショーの BGM に WAV ファイルを設定している場合

音楽ファイルが壊れていないか確認してください。

– スライドショーの BGM に外部入力を設定している場合

外部オーディオ機器から正常に出力できているか確認してください。

スライドショーが途中で止まる。

→ スライドショーは、⊕ ボタンを押すと一時停止します。再開するには、再び⊕ ボタンを押します。
ほかに問題がある場合は、本機を強制終了し、電源を入れ直してください。詳しくは、「本機を強制終了するには」(64 ページ)をご覧ください。

画像を縦に回転させたらスライドショーで上下が切られてしまう。

→ スライドショーでは、画面全体に画像を表示させています。そのため、縦長の画像では上下が切られて表示されることがあります。画像全体をご覧になるには、フル画面表示を使用してください。

パソコンとの接続について

パソコンからコピーした画像が表示できない。

→ 画像を保存したフォルダが規則どおりに作成されているか確認してください。詳しくは、「画像の保存先」(60 ページ)をご覧ください。

[画像のインポート]ができない。

➔ インポートする画像が本機のIMPORT フォルダに保存されているか確認してください。

その他のファイルについて

JPEG 形式以外のファイルが表示される。

➔ 設定メニューの[画面表示]を[OFF]にすると、「?」アイコンが表示されなくなります。

拡張子「ORG」のファイルが作成される。

➔ 画像を回転させると、回転後の新しいファイルの拡張子が「JPG」になり、元のファイルの拡張子が「ORG」になります。

JPEG 形式以外のファイルが表示されない。

➔ 設定メニューの[画面表示]を[ON]にすると、JPEG 形式以外のファイルが「?」アイコンで表示されます。

リモコンについて

リモコンが動作しない。

➔ 電池が消耗していないか確認し、必要なら電池を交換してください。リモコンを使用するときは、本体のリモコン受光部に向けてください。リモコンとリモコン受光部の間には物を置かないでください。

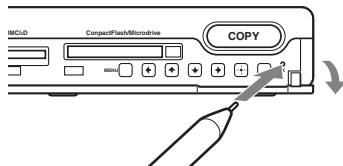
設定について

設定メニューで[設定の初期化]を選択する以外の方法で本機をリセットしたい。

➔ 本機の電源を切り、⬆ボタンを押しながら電源を入れます。ハードディスクに保存された画像は消去されません。

本機を強制終了するには

上記の項目をチェックしても問題が改善されない場合は、下記のように本機を強制終了してください。

先端の細い物を使って、強制終了スイッチを押す。

ご注意

スイッチを操作する際に、手や指などを傷つけないよう気を付けてください。

ご使用になれるメモリーカード

本機では、下記のメモリーカードがご使用になれます。*1

メモリカードの種類	動作確認した最大サイズ
“メモリースティック”(マジックゲート非対応)	128 MB
“マジックゲート メモリースティック” *2	128 MB
“メモリースティック”(マジックゲート対応) *2 *3	128 MB
“メモリースティック デュオ”(マジックゲート非対応)	128 MB
“マジックゲート メモリースティック デュオ” *2	128 MB
“メモリースティック デュオ”(マジックゲート対応) *2 *3	128 MB
“メモリースティック PRO” *2 *3	4 GB
“メモリースティック PRO デュオ” *2 *3	4 GB
SD メモリーカード *5	2 GB
miniSD™ カード *4 *5	1 GB
MMC(マルチメディアカード) *6	2 GB
RS-MMC™ *4 *6	512 MB
コンパクトフラッシュ®	4 GB
マイクロドライブ®	6 GB
xD- ピクチャーカード ™	1 GB

*1 すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
本機が対応していないメモリーカードを使用した場合の動作は保証いたしません。
*2 マジックゲートを使用したデータの記録や再生はできません。
*3 パラレルデータ転送(高速データ転送)に対応しています。
転送速度はご使用のメディアによって異なります。
*4 別売りのアダプターが必要です。
*5 著作権保護機能には対応しておりません。
SDHC メモリーカードには対応しておりません。
*6 MMCplus、MMCmobile に対応しています。ただしパラレルデータ転送はできません。

ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 上記以外のメディアやデバイスを、本機に挿入しないでください。

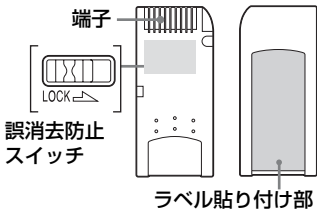
“ メモリースティック ” について

“ メモリースティック ” は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代の IC 記録メディアです。“ メモリースティック ” 対応機器間でデータをやり取りするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの 1 つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

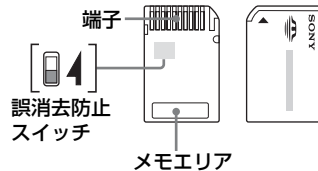
マジックゲートとは

マジックゲートは、ソニーが開発した著作権保護技術です。

“ メモリースティック ” 使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に “ メモリースティック ” を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- データの記録されている “ メモリースティック ” をフォーマットすると、記録されていたデータやソフトウェアはすべて消去されます。誤って重要なデータを消去しないようご注意ください。

“ メモリースティック デュオ ” 使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチが付いていない“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤ってデータを編集したり削除しないようご注意ください。
- 誤消去防止スイッチが付いている“メモリースティック デュオ”をご使用の際は、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

- “ メモリースティック デュオ ” の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- “ メモリースティック デュオ ” のメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “ メモリースティック ” の持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

キャビネットのお手入れ

柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

主な仕様

ハードディスク容量

80 GB

(システム管理領域を除く、使用可能な領域は約 75 GB。パソコン上では、1 GB を 1,073,741,824 バイトとして換算するため、約 70 GB と表示されます。)

メディアスロット

" メモリースティック " スロット× 1
SD メモリーカード／マルチメディアカード／ xD- ピクチャーカードスロット× 1
コンパクトフラッシュ／マイクロドライブスロット× 1

対応メモリーカード

65 ページをご覧ください。

インターフェース

USB 2.0（Hi-Speed ／ Full-Speed）*

* 接続されているパソコンが USB 2.0 に対応していない場合は、USB Full-Speed（12 Mbps）での転送となります。

外部接続

USB（mini-B）× 1
音声入力 × 1
映像・音声出力（NTSC/PAL）× 1
コンポーネント映像出力（720p/480i, Y Pb/Cb Pr/Cr）× 1

電源

AC 100 V ～ 240 V 50/60 Hz

消費電力

16.5 W（最大）

環境条件

動作温度：5 ～ 35 ℃（温度勾配 10 ℃／時以下）
動作湿度：20 ～ 80%（ただし結露しないこと）

本体外形寸法

約 215 × 35 × 255 mm
（幅×高さ×奥行き、突起部除く）

質量

約 1.8 kg

対応ファイル形式

静止画（DCF 準拠）
JPEG：JPG
RAW*：SRF、SR2、ARW
音楽：WAV**

* RAW ファイルのサムネイルはそのまま表示されます。

** データ形式：リニア PCM
チャンネル数：2（ステレオ）
サンプリング周波数：22.05 kHz ／ 44.1 kHz
サンプルあたりのビット数：16 bit

再生画素数

記録画素数 * 10,077,696 画素
（= 3,888 × 2,592；DSC-R1 相当）

* 有効画素数と記録画素数とは異なりますのでご注意ください。

付属品

リモコン
（CR2025 リチウム電池使用）（1）
電源コード（1）
映像・音声コード（1）
コンポーネント映像コード（D 端子用）（1）
USB ケーブル（1）
取扱説明書（本書）（1）
保証書（1）
簡単操作ガイド（1）
カスタマーご登録のお願い（1）

- MEMORY STICK、“ メモリースティック ”、“ メモリースティック デュオ ”、“マジックゲート メモリースティック ”、“ メモリースティックPRO” および “メモリースティックPRO デュオ ” は、ソニー株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows および Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国 Apple Computer Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- True Type フォントのラスタ処理は、Free Type Team のソフトウェアを基にしています。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本書中の画面表示は、実際の製品と異なる場合があります。

各部の名称

本体前面

1 I/⏻(電源)ボタン(19ページ)

2 " メモリースティック "
スロット(22 ページ)

3 SD ／ MMC ／ xD スロット
(22 ページ)

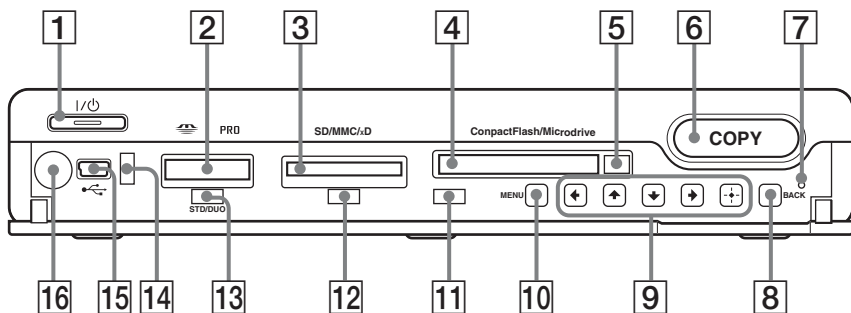
4 コンパクトフラッシュ／
マイクロドライブスロット
(23 ページ)

5 コンパクトフラッシュ／マ
イクロドライブイジェクト
ボタン(23 ページ)

6 COPY ボタン(24 ページ)

7 強制終了スイッチ(64 ページ)

8 BACK ボタン（12 ページ）

9 ←/→/↑/↓/⊕（決定）ボタン
(12 ページ)

10 MENU ボタン（12 ページ）

11 コンパクトフラッシュ／
マイクロドライブ アクセス
ランプ（23 ページ）

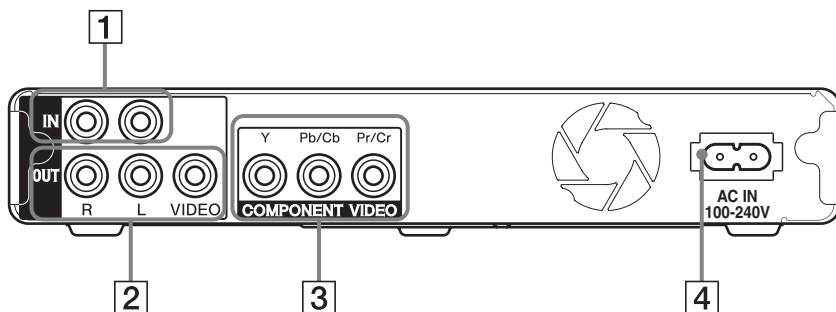
12 SD ／ MMC ／ xD アクセス
ランプ（22 ページ）

13 " メモリースティック "
アクセスランプ（22 ページ）

14 USB アクセスランプ

15 USB 端子（56 ページ）

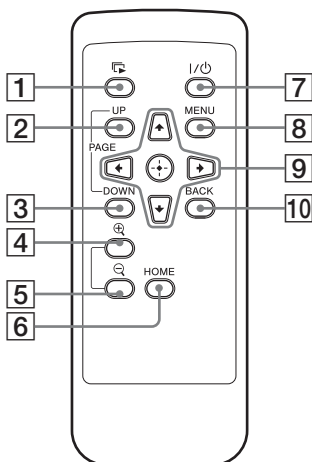
16 リモコン受光部

本体後面

1 IN（音声入力）端子
（18 ページ）

2 OUT R ／ L ／ VIDEO
（音声／映像出力）端子
（17 ページ）

3 COMPONENT VIDEO
（コンポーネント映像出力）
端子（17 ページ）

4 AC IN（電源入力）端子
（18 ページ）

リモコン

1 （スライドショー）ボタン（37 ページ）

2 PAGE UP ボタン

3 PAGE DOWN ボタン

4 （ズームイン）ボタン（34 ページ）

5 （ズームアウト）ボタン（34 ページ）

6 HOME ボタン（12 ページ）

7 I/⏻（電源）ボタン（19ページ）

8 MENU ボタン（12 ページ）

9 ←/→/↑/↓/（決定）ボタン（12 ページ）

10 BACK ボタン（12 ページ）

保証書とアフターサービス

本機は日本国内仕様です。保証書は国内に限られています。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店か、お客様ご相談センターにご連絡ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、HDD フォトストレージの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

型名:HDPS-L1
故障の状態:できるだけくわしく
購入年月日:

お買い上げ店

TEL.

This HDD Photo Storage is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

索引

商品について詳しくは、http://www.sony.co.jp/HDPS/ をご覧ください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia